

SNS のメリットとデメリット

～ facebook 普及によって生まれた問題点 ～

今や約9億人が利用していると言われるFB(フェイスブック)。言わずと知れた SNS (ソーシャルネットワークシステム) の最大手です。

フェイスブックは、フェイスブック株式会社が提供する SNS で、2004 年にアメリカ合衆国の学生向けにサービスを開始しました。当初は学生のみ限定していましたが、2006 年 9 月 26 日以降は一般にも開放されました。日本語版は 2008 年に公開し、13 歳以上であれば無料で参加できます。実名登録制となっており、個人情報の登録も必要です。



これを、企業のマーケティング戦略に活用する動きも出てきましたが同時にフェイスブックの「弱み」も浮上してきました。例えば、モバイル機器の利用者が増えれば収益に悪影響が及ぼす可能性があると思

われています。これは、売上高の大半をパソコン向け広告に依存していることや利用者のプライバシー問題を抱えており、広告主が利用価値を高めようとするほど、利用者のプライバシー保護とのバランスが難しくなる仕組みなのです。

また、フェイスブックに投稿された商品の苦情について、該当する企業の担当者から約 23%が返信しないという回答があり、このような対応に対し消費者の約 60%が印象が悪いと答えています。フェイスブックをはじめとした SNS はリアルタイムが原則です。しかし、担当者としてはリアルタイムの回答が難しいことや担当者が不在という理由で消費者からの苦情に回答できないという理由が原因です。まさしく、SNS の弱点をついたことになりました。

今後、SNS はさらに拡大されることになると思いますが、利用に関してはお互いに理解しながら利用することによって、メリットが生まれてくるでしょう。



facebook は学校では開けません!!

多くの学校ではフィルタリングソフトを導入していると思いますが、facebook はフィルタリング対象になっています。注意してください。